

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・食品その他の値上がりを前に、販促をかけていくため、2、3か月先までは売上は増える。また、円高のため、値上げも多少緩和される。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・商店街の入り口に大型スーパーが出店して人通りが多くなるため、来客数が増える。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・食の安全が話題になっているため、時流にあった商品群を充実させ、更に拡販していく。
		百貨店（売場主任）	・新入社員の客の来店が少しあったので、これから給料を貰い始めると、また来店する客が少しは増える。また、下見や注文のため来店する常連客もあるため、売上は伸びる。
		スーパー（総務担当）	・来客数の伸びはないが、客単価が4.9%上昇しているのので、今後は良くなる。
		都市型ホテル（営業担当）	・ガソリンの暫定税率が廃止され、ガソリン価格が下がるため、消費が進み良くなる雰囲気がある。
		旅行代理店（経営者）	・ガソリンの暫定税率が廃止され、企業や家庭の出費が減るため、一時的であっても上向きに転ずる。
		住宅販売会社（従業員）	・今後資材価格が高騰するので、早めに住宅を取得したほうが良いという考え方が増えてくる。
		変わらない	商店街（代表者）
	百貨店（売場主任）		・客はポイントカードのポイントが倍になる期間を狙って購入するなど、少しでも得になるよう生活防衛をしている様子が明らかである。このような傾向は、まだまだ続いていく。
	百貨店（販売担当）		・ファッションに目新しさがなく、低迷は約1年も続いている。従来と異なる製品の動きが見え始めてはいるが、良くなるのは秋以降になる。
	百貨店（販売担当）		・ボーナス商戦となるが、円高、株安、原油高の傾向が続けば消費が冷え込むのは確実である。貴金属の価格上昇の影響も出てくる。
	スーパー（店員）		・良くなる要素は見当たらず、今月同様に悪い状況が続く。
	スーパー（営業担当）		・今後は新入学、花見、行楽、ゴールデンウィークと行事が目白押しであるが、消費者物価の高騰は避けられず、消費は低迷する。
	コンビニ（エリア担当）		・必需品以外の買い控えは、今後も継続していく。
	コンビニ（エリア担当）		・競争店が増えることはあっても、減る兆しはない。
	衣料品専門店（経営者）		・以前なら夏物は単価は低くてもそれなりに売れていたが、これからは必要な物しか買わない傾向が続く。
	乗用車販売店（従業員）		・3月中ごろより市場は縮小しており、車の販売は厳しくなっている。5月には新型車が投入されるが、それまではかなり厳しい販売状況になる。
	一般レストラン（スタッフ）	・今月は天候が良かったのと当店の値上げを抑えたために来客数が伸びたが、この先これ以上伸びるとは思えない。	
都市型ホテル（従業員）	・予約の件数は変わっていない。		
旅行代理店（経営者）	・諸物価が値上がり、海外旅行では燃油料が高騰しているため、5月以後も相変わらず悪くなっている。		
旅行代理店（経営者）	・ドル安、原油高などの影響が出始めて、自動車部品業界などが影響を受けるため、購買層は伸びない。		
タクシー運転手	・自動車産業、電機産業などでは給料のベースアップも出来たが、円高で深刻な状況になっているため、減益が予想される。食料品など物価も上昇が続くので、景気はやや悪くなる。		
テーマパーク（総務担当）	・来場者数は増加傾向であるが、ガス代や原材料価格の値上げに伴い、単価を上げた商品もあるため、今後もそれほど変わらない。		
ゴルフ場（経営者）	・予約数は前年を上回っているが、単価を下げているためとも思われる。燃料価格が上昇しており値上げしたいが、客を失うのが怖くて、なかなか踏み切れない。		
ゴルフ場（企画担当）	・予約状況を見ると、今の好調は2、3か月は続く。売上の好調さもしばらく維持できる。		

やや悪くなる

商店街（代表者）	・原材料費の高騰により、一部商品の値上げをせざるを得ない。競争相手も多く、売上に影響すると懸念している。
商店街（代表者）	・4月1日以降の原材料価格を値上げするという通達が、当店にも来ている。対象は材料の80%ほどである。商品単価に転嫁しないとやっていけず、値上げを考えているため、販売量は減少する。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・食材等の上昇で、消費者の懐が更に厳しくなる。飲食店を中心に来客数が減少し、影響が出てくる。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・給料が上がるよりも諸物価の値上がりの方が大きいいため、マイナス傾向になる。
百貨店（企画担当）	・婦人服の販売不振は半年間続いており、天候やファッショントレンドというよりも、客の消費意欲の低下が原因と考えられる。この消費マインドの冷え込みがすぐに改善するような兆しはない。
百貨店（企画担当）	・株安により、特に富裕層に心理的影響がみられ、高額品の動きはしばらく低迷が続く。また、昨年と大きく異なるようなファッショントレンドが出てきていないため、ファッション商材の動きも厳しさが続く。
百貨店（外商担当）	・今月の様子を見ても家計の余裕を感じられず、買い控えがしばらく続く。
百貨店（販売担当）	・卒業、入学や就職など大きな需要が見込まれた時期にかなり売上を落としているため、ゴールデンウィーク後の例年集客率が落ちる2、3か月後は、更に厳しくなる。
スーパー（経営者）	・大型店の出店が控えており、やや悪くなる。
スーパー（仕入担当）	・現在のビール、発泡酒等の値上げ前の駆け込み需要の反動が予想される。その他にも店頭売価の値上げが次から次へと発表されるため、消費者は各スーパーの安売りチラシを持って、その日その日で買い回ることが増える。
スーパー（販売担当）	・近隣に競合店がオープンする。
コンビニ（経営者）	・仕入価格の上昇は、最低でもまだ2、3か月は続き、その間は利益を見込めない。また、売価が上がったときに、客の購買力が落ちないか不安である。
コンビニ（エリア担当）	・競合店が出店する予定があり、ますます厳しくなる。
コンビニ（店長）	・食の安全など様々な問題により、何が売れるのか、何を求めているのか分かりづらい。円高や政治の不安定なども伴い、買い控えは一層高まっていく。
家電量販店（店員）	・パソコンの単価が下落している。高単価商品の高性能CPU搭載機も値下がり幅が大きく、今後の売上は前年を割る。
乗用車販売店（従業員）	・特別仕様車の投入があるため、限定的ながら効果はある。
スナック（経営者）	・ボトルなどの仕入価格が値上がりする上に、客も様々な面でシビアになっていくため、ゴールデンウィーク明け以降の繁華街は特に厳しくなる。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・夏ごろまでは、買い控え傾向が続く。
観光型ホテル（経営者）	・原油価格の高騰に伴い、消費者は今後も出費を控える。2、3か月先の予約状況も、昼食、夕食の地元需要は、前年比90%ほどと、弱含みである。
都市型ホテル（支配人）	・飲料類の値上げが、ワインやその他にも広がっている。また、客室清掃費などの値上げ依頼も軒並み届いている。ネットで宿泊価格を見ても、販売価格への転嫁が進まないどころか、単価は下がり気味である。
旅行代理店（従業員）	・4月から生活必需品の値上がりラッシュを迎え、それに伴いレジャー費への支出は少なくなる。
理美容室（経営者）	・諸物価が高騰してきており、必要などときにしか来店しない傾向は続く。
住宅販売会社（企画担当）	・来客数が減少しており、商談件数も減少しているため、今後徐々に悪くなっていく。
その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・年度末以降の工事が無くなっている。
悪くなる	
商店街（代表者）	・様々な物が値上がりしている。この業界でも10～15%の値上げがあり、消費はいよいよ冷え込んでいく。
コンビニ（商品開発担当）	・ガソリン価格が25円ほど値下げされても、その他の原材料価格の高騰に対する価格転嫁が出来ていないため、今後半年以上をかけて、段階的に値上げする見込みである。そのため、消費は悪化し、改善の見込みは少ない。

		一般レストラン（経営者）	・ 今月、来月、再来月と、どんどん悪くなる。近所の同業者でも同じ様子で、本当に不安である。
		一般レストラン（経営者）	・ 4月以降の諸物価の値上がりによる影響が出てくる。
		観光名所（案内係）	・ 4月以降はとにかく値上げが多いが、収入が増えるわけではないので、景気は悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・ 供給過多となっているため、先行きは悪くなる。
企業動向関連	良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 住宅着工件数に回復の兆しが見え始めており、窯業界にとっては刺激となる。
	やや良くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ 昨年開始した新しい広告媒体が安定しており、営業利益が増え始めている。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・ 受注量は増加見込みである。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・ 主要取引先からの受注が順調に増加しつつあり、今後も引き続き増加の見込みである。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・ 受注量、販売量共に、現在の水準で推移する。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・ 原材料や燃料費は交渉する余地もなく上昇しているが、製品価格への転嫁は全くといっていいほどできていない。同業他社も同じ状況であり、同業他社が値上げ要請すれば、見直しが行われる可能性がある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 新製品の販売状況は、今後も現在と変わらない。
		輸送業（エリア担当）	・ 新入社員、新入生の動きに合わせて、例年3月末は引越しが増加するが、今年はそれほど多くない。企業活動が活発でない現れであり、この動きはしばらく続く。
		金融業（企画担当）	・ 企業の売上は減少していないため、当面は現状の景気が続く。
		広告代理店（制作担当）	・ 新企画などに対してなかなか良い返事がなく、今後も平行線をたどる。
	やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・ 原材料価格の高騰に対して、価格転嫁が出来る可能性が出てきている。しかし、消費者に買い控え傾向があり、全体としてはやや悪くなる。
		紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・ 取引先からの数か月先の受注量を予測すると、減少傾向となる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・ 原材料の価格値上げは、どうにも出来ない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ これまでカー・エレクトロニクス関係が全体をけん引してきたが、やや陰りがうかがえる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 2割強の販売価格値上げを予定しているが、売上が落ち込むのではないかと懸念がある。
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）		・ 現状は輸出に頼っているが、サブプライムローン問題でアメリカの景気が低迷していることに加えて、円高もあって、輸出は悪くなっている。その一方で、国内販売も前年比でマイナスが続いており、全体の売上は減少する。	
輸送業（従業員）		・ 物流業界は原油高騰により燃料価格が高止まりしており、厳しい経営環境が続く。	
輸送業（エリア担当）		・ プラント関係の貨物輸送が残っており、現在忙しいが、主要顧客先の受注が減少してきているとの情報がある。	
輸送業（エリア担当）		・ 円安、石油高騰の影響によって、輸出入を控える傾向がさらに強くなる。関西空港、成田空港の物流業者との競争が厳しくなっており、中部国際空港での物流量はさらに減少していく。	
通信会社（法人営業担当）		・ アメリカ景気の悪化が、影響してくる。また、企業の業績は良くても、社員への還元がなされていないため、財布のひもも固くなる。	
悪くなる	広告代理店・新聞販売店〔広告〕	・ 4月以降の受注量が減少してきている。	
	公認会計士	・ 原材料の高騰及び金融機関の融資姿勢に、改善される見通しがない。大企業と下請との取引姿勢も、一層厳しくなる。	
	化学工業（企画担当）	・ これまでは輸出に依存して緩やかな景気回復が認められてきたが、急激な円高による影響は、企業努力の域を超えて、利益減少に拍車がかかる。商品価格への転嫁や設備投資の抑制にもつながり、景気は悪化する。	
		鉄鋼業（経営者）	・ 原材料である鋼材価格の大幅な上昇が見込まれるため、元請企業に対して値上げ交渉を進めているところであるが、今後の事業収支は圧迫される。新規の設備投資なども、少なくとも4月から6月は様子見で停滞する。

		金属製品製造業（経営者）	・引き合い件数が減少している。
		建設業（経営者）	・建設業は更に競争が激化する。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・法人関係の予約状況が良く、求人数も増加する予想である。
	変わらない	人材派遣会社（経営企画）	・顧客からの派遣需要は、今後も高止まりが続く。しかし採用環境の厳しさも変わらないため、全般的には現状と同じである。
		人材派遣会社（経営者）	・技術者の人材不足は変わらない。派遣できる体制になっていない。
		人材派遣会社（社員）	・求人案件は堅調であるが、それに見合う人材確保が困難であり、採用は進まない。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車を中心とする製造業では、依然として生産は好調で人手不足が続いている。しかし中小企業では、余剰感が出てきているため、横ばいとなる。
		職業安定所（職員）	・受注や生産量の増加が見込まれ、人材需要はあるものの、原材料費の高騰によって企業収益や賃金の伸びは期待出来ない。
		職業安定所（職員）	・新規求人の状況は、運輸業、飲食店や宿泊業では増加もみられるが、ほとんどの業種では減少している。求人意欲も低調であり、今後もこの状況が継続する。
		職業安定所（職員）	・不透明感があり、採用者数や求人数を控える状況が続く。
		職業安定所（管理担当）	・新規求人、新規求職者が共に減少しているものの、今後も大きな変化はない。
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・需要が安定している長期のオーダーに、減少傾向が現れている。特に増員対応の依頼は、今後減少する。	
	人材派遣会社（営業担当）	・現在は一服感があるものの、今後の需要は高水準になることが予想される。しかし、直接雇用への転換が進むため、人材確保が困難になる。	
	求人情報誌製作会社（企画担当）	・景況の見通しに不透明感が増しており、新年度以降は採用の手控えが生じる。	
悪くなる			